

# 第 2 次石巻市総合計画 施策評価結果（令和 6 年度実績）【概要】

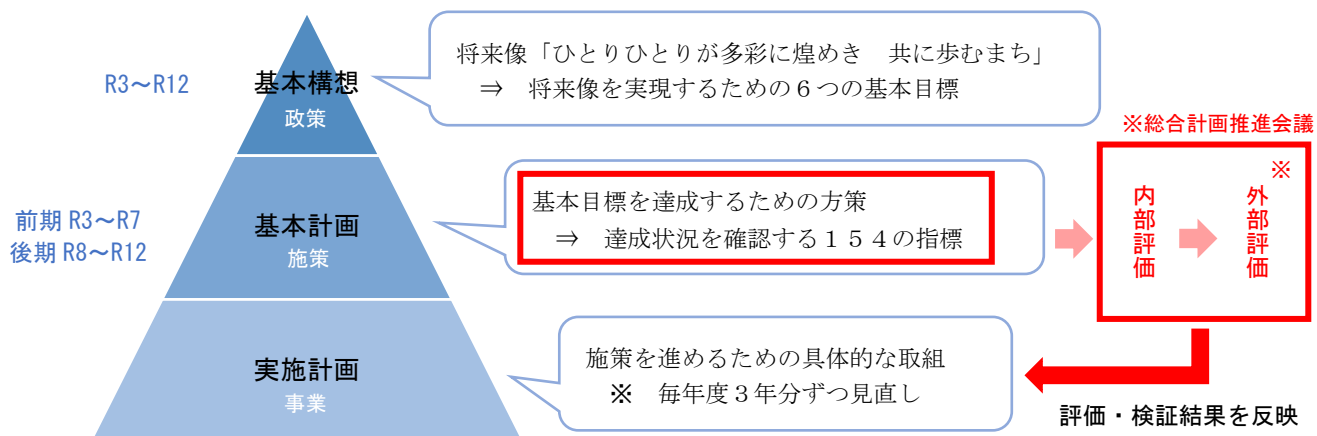
## 第 2 次石巻市総合計画

総合計画基本計画	4
第 2 期 復興・創生期間に係る対応方針	18
地方創生の取組	19

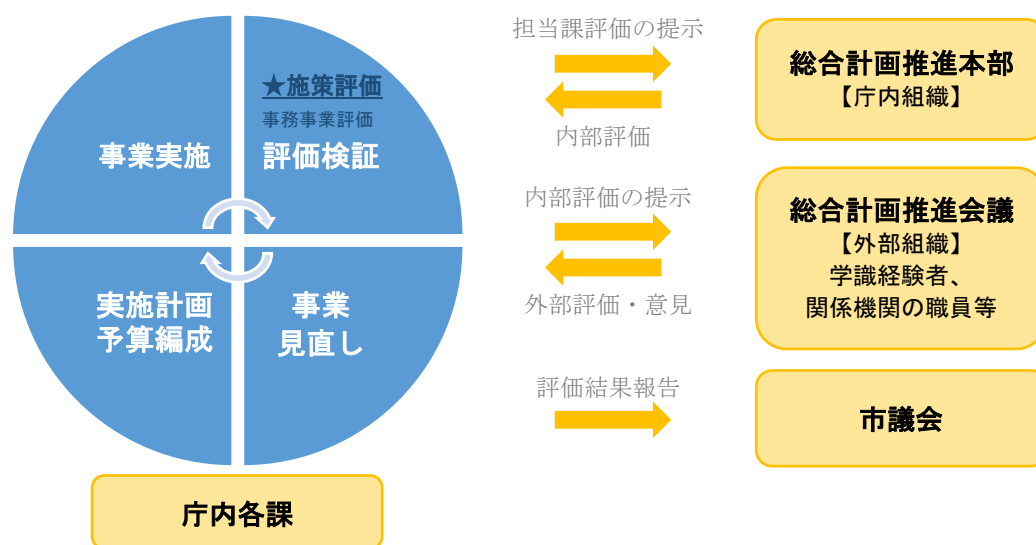


## 1 総合計画の進捗管理

令和3年9月に策定した第2次石巻市総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成しています。  
前期基本計画では、将来像及び6つの基本目標の達成に向けた基本施策を定めており、その達成状況を毎年度評価・検証することにより、施策の進捗管理を行います。



## 2 前期基本計画の推進体制



## 3 令和7年度会議開催状況

日程	会議	内容
5月29日(木)	第1回 石巻市総合計画推進本部幹事会	内部評価
6月5日(木)	〃 石巻市総合計画推進本部会議	
7月1日(火)	第1回 石巻市総合計画推進会議	外部評価
7月3日(木)	第2回 〃	
8月7日(木)	第2回 石巻市総合計画推進本部幹事会	評価結果報告
8月19日(火)	〃 石巻市総合計画推進本部会議	

#### 4 評価・検証方法

内部評価

定量評価

① 達成度：指標の目標値に対する達成率から a ～ d の 4 段階に分類しました。  
a：100%以上、b：80～99%、c：60～79%、d：～59%

② 各指標の①「達成度」から4段階で評価

基本計画

各KPIの「①達成度」から4段階で評価

◎：「aまたはb」のみでaが半数以上

○：「aまたはb」のみでaが半数未満

△：「cまたはd」がありdが半数未満

×：dが半数以上

復興創生／地方創生

各KGIの「①達成度」から4段階で評価

◎：a（どちらもa）

○：b（どちらも「aまたはb」）

△：c（どちらかが「cまたはd」）

×：d（どちらもd）

※括弧内はKGIが2つの場合

定性評価

③ 施策の効果や取組状況から担当課において3段階で評価しました。

◎：課題を改善し効果を上げることができた

○：課題の改善に取り組んでいる

×：課題が改善されず効果が上がっていない

④ 定性評価と定量評価を掛け合わせた右の基準から市の「内部評価」を決定しました。

A：順調

B：概ね順調

C：やや遅れている

D：遅れている

		定性評価		
		◎	○	×
定量評価	◎	A	A	B
	○	A	B	C
	△	B	C	D
	×	C	D	D



外部委員評価
<p>【総合計画推進会議】</p> <p>施策の達成状況について、評価シートに基づき担当課より説明を行った後、質疑応答及び施策に対する御意見をいただきました。</p> <p>【評価の視点】</p> <p>○内部評価の妥当性（市の施策と市民目線がかけ離れていないか）</p> <p>○遅れている施策（CまたはD）を推し進めるための意見</p> <p>【評価方法】</p> <p>以下の基準により各委員から評価をいただき、最も多い評価を外部評価としました。</p> <p>A：順調、B：概ね順調、C：やや遅れている、D：遅れている</p>

## 5 外部評価結果

### (1) 集計

評価項目		A 順調	B 概ね 順調	C やや 遅れて いる	D 遅れて いる
基本計画	第1章 住民同士の絆・支え合いで 安全安心に暮らせるまち（全6節）	3 (2)	1 (2)	2 (2)	0 (0)
	第2章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが 生まれるまち（全3節）	0 (0)	1 (1)	2 (2)	0 (0)
	第3章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち 自分らしく健康に暮らせるまち（全5節）	2 (2)	1 (1)	2 (2)	0 (0)
	第4章 多彩な人材が活躍し 誇りと活気にあふれるまち（全6節）	2 (3)	0 (1)	4 (2)	0 (0)
	第5章 豊かな心を育み いのちを未来につなぐまち（全6節）	6 (5)	0 (1)	0 (0)	0 (0)
	第6章 市民の声が共鳴し 市民と行政が共に創るまち（全2節）	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
	小計（全28節）	14 (13)	3 (6)	11 (9)	0 (0)
復興 創生	第1章 第2期 復興・創生期間に係る 対応方針（1対応方針）※	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	小計（1対応方針）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
地方 創生	第1章 人口戦略の推進（4対応方針）	0 (0)	0 (1)	3 (2)	1 (1)
	第2章 未来都市の実現（1対応方針）	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)
	小計（5対応方針）	1 (0)	0 (2)	3 (2)	1 (1)
計		16 (14)	3 (8)	14 (11)	1 (1)

※括弧内は昨年度評価。

※なお、第2期復興・創生期間に係る対応方針について、令和5年度（令和4年度評価）で評価が1節終了したため1節のみの評価となった。

(2) 内訳 ※委員評価数は会議の出欠数等により委員数 25 名より少なくなっています。

① 第 2 次石巻市総合計画

【基本計画】第1章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち									
第1節 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	◎
		A	B	C	D			定量評価	◎
主な意見		13	5	0	0				
今後の方向性	<p>令和6年度の主な取組や成果から、住民主体の地域づくりが順調に軌道に乗ってきたことが伺える。</p> <p>・住民自治組織の有効性等について、地域によってバラつきがあり、地域住民に十分に伝わっていると思えない。</p> <p>・住民自治組織設立の成功事例の紹介を他地域で行ってほしい。</p>								
	<p>令和6年8月に設立された住民自治組織や設立予定地区が一堂に会した情報交換会を実施し、住民自治組織設立の成功事例や他地区の事業例の共有などを行っております。今後もこうした取組を継続し、住民自治組織の活動活性化に向けた支援を行ってまいります。</p>								
第2節 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
主な意見		15	2	1	0				
今後の方向性	<p>現在、本市では定住外国人の児童生徒が学校に適応し、安心して学ぶことができるよう、学校生活や授業の補助を行う定住外国人就学支援員を配置しているほか、令和5年度からは、教育制度・高校受験・家庭学習等に関する情報提供、個別相談、経験者の話を聞く情報交換の場として「外国につながる親子のための夏休み教室」を実施しているところであります。</p> <p>今後も外国につながる子ども一人ひとりの事情に寄り添いながら、安心して住み良い環境整備及び支援の充実に努めてまいります。</p>								

第3節 安心して暮らすための地域防災力などの向上									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	4	14	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・洪水ハザードマップの取組、原子力災害時の各機関との連絡調整によるアップデートなど、様々な取組を行っていることから、地域の防災対策が推進していると感じる。</li><li>・防災参加率を高めるためには、それぞれの地域の特性を生かした地域ごとの取組が必要である。</li><li>・防災訓練の参加者を増やす方法として、外に出ない参加者に対し、ゲーム感覚で参加することができる防災アプリ等を利用することで、訓練に参加したことにする等の方法はいかがが。</li></ul>								
今後の方向性	<p>総合防災訓練の日に参加できない方は、都合の良い日時にシェイクアウト訓練を実施するよう呼びかけておりました。</p> <p>また、防災アプリの導入を検討しており、防災知識や避難行動などを学べるアプリの導入も含め、年代に関わらず市民が参加しやすい訓練となるよう検討し、周知してまいります。</p>								
第4節 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	2	16	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・「夫婦ともに育児に参画しているか」という点に関して、30代40代の方々は男女共同参画ができていていると思います。</li><li>・委員会等に占める女性委員の割合が少ないのは、他に問題があると思うがいかがが。</li><li>・若い人材の発掘はすこぶる重要だと思いますので、女性人材リストの更新をお願いします。</li></ul>								
今後の方向性	<p>農林水産や自治会関係など、女性が登用されにくい分野があることも課題として認識しております。会議の性質によっては、専門性や経験を重視することが求められ、単純に男女の人数比率だけでなく、必要な会議に必要な人材を配置するという視点も大切にしています。様々な視点から難しい状況もありますが、女性登用の推進は重要な課題として積極的に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>女性人材リストの登録者を対象に「女性活躍推進会議」の見学会を開催し、市の審議会等の委員に選任された際の具体的な役割や活動内容について理解を深めていただく機会を提供しております。今後も、市政参画に関心を持つ方の掘り起こしを進めてまいります。</p>								

第5節 持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		14	3	1	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・住民バス等の運行情報がネットで調べられることは、バス利用者にとって有効な手立てだと思う。</li><li>・住民バス及びワンコインタクシーの運行など頑張っているが、それによる住民利用率の変化や、住民満足度の変化がどうなったのか繋がりが見えないと評価は難しい。</li><li>・市職員だけが「公共交通利用促進デー」とするだけでなく、市内の会社へ促すことも必要ではないか。</li><li>・河北及び桃生地区の改善（新たな取組）に至るまでの経緯を他地域にも教えてほしい。</li></ul>								
今後の方向性	<p>民間企業に対して公共交通の利用を呼びかけることは重要であると考え、令和6年度に市内にある52の企業・団体を訪問し、市の取組である「公共交通利用促進デー」を紹介するチラシを配布し同様の取組を行うように呼びかけを行ったほか、法人会やNPO支援センターに依頼して、チラシの配布を行いました。今後も、積極的に各企業に呼び掛けてまいります。</p> <p>河北及び桃生地区の新たな取組については、他地区で住民バス・乗合タクシーを運行している「運行協議会事務局」に情報共有いたします。</p>								

第6節 未来につなぐ震災伝承の推進									
外部評価	B	委員評価数				内部評価	B	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	○
		0	15	3	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・震災遺構の訪問により、震災を経験していない世代に、実際の津波・地震の痕跡に触れてもらい、それぞれ自分の事として考えてもらう事が必要。</li><li>・県外からの観光者や児童生徒に震災遺構に来て学んでほしいので、学校関係者や観光業者へ、石巻市の震災遺構の良さをアピールするようにしてほしい。</li><li>・市内の小中学校で震災遺構を訪問する校外学習を実施する上で、何か課題があるならば市が多角的に支援し、震災遺構を教育に積極的に活用するべき。</li></ul>								
今後の方向性	<p>旅行者や観光業者が作成する教育旅行プランでは、震災遺構を巡る学びの場だけでは難しく、石ノ森萬画館など観光として楽しめる場との組み合わせが基本になると説明をいただいております。本市としましては、震災遺構の持つ防災教育の場としての価値をアピールし、教育旅行等のプランとして採用されるよう教育機関や観光、旅行者等との連携を図ってまいります。</p> <p>震災遺構は、震災の事象と教訓の風化防止及び防災意識の向上を図るうえで重要な施設です。震災遺構を実際に目で見ることは、防災教育に効果的であると認識しておりますので、市内の小中学校による震災遺構の見学や交通費の状況を含め、教育委員会と協議してまいります。</p>								



【基本計画】第2章 都市と自然が調和し快適とやすらぎ生まれるまち

第1節 豊かな自然環境の保全・生活環境の充実

外部評価	B	委員評価数				内部評価	B	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	○
		0	18	0	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境フェアは良い取り組みなので、もっと宣伝をしてほしい。</li><li>・「地球温暖化」に興味がある市民の割合」及び「環境に配慮した生活を行っている」と回答した市民の割合」の目標値の設定が適切である。</li><li>・自治会等の清掃奉仕活動実施団体を増やす事も必要であるが、公園や公共的設備を使用する子ども達への指導・教育も重要でないだろうか。</li><li>・HEMS（家庭内のエネルギー使用量等の見える化や制御など管理機能を持つ機器）導入に関する補助施策を、国の支援を求めて拡充できないでしょうか。</li></ul>								
今後の方向性	<p>HEMSは、家庭のエネルギー消費を「見える化」し、効率的な利用を促進することで、省エネルギーやCO2排出削減に大きく貢献する重要な技術であります。また、再生可能エネルギーの導入促進や災害時のレジリエンス強化にも繋がるものと認識しております。</p> <p>今後については、より多くの方々がHEMSを導入していただきますよう、国の支援策について注視しながら、補助施策のあり方について検討してまいります。</p>								
第2節 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	4	14	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民のゴミの排出量が減少傾向にあることは望ましい。</li><li>・民間企業の店頭回収により、市が行うダンボール等の再資源化できるごみの回収が減少しているが、市民のリサイクルに対する意識は向上していると思う。</li><li>・プラごみの回収が始まると、よりゴミに対する考えが深まると思います。</li><li>・リサイクル推進のため、大型店舗・事業所等にも簡易包装の推進をお願いしてみたらどうか。</li></ul>								
今後の方向性	<p>簡易包装は、包装を必要最低限に抑えることで、環境負荷の軽減を図ることができる取組として有効であると認識しております。</p> <p>今後、事業者に対する減量・資源化の推進の中で、簡易包装についても周知・啓発を図ってまいります。</p>								

第3節 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	0	18	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・立地適正化計画の推進のためには、市としての将来的な展望を市民の方に十分理解していただくことが大切。</li><li>・幹線道路の改良について、ある程度進んでいると思う。</li><li>・市営住宅適正配置について、居住世帯のマッチングをあと一息、丁寧をお願いしたい。</li><li>・危険ブロック塀の除去については、根気強く推進していただきたい。</li></ul>								
今後の方向性	<p>危険ブロック塀の除却を啓発する通知は、毎年度、危険性の高いブロック塀の所有者を最優先に発送しているところです。</p> <p>危険ブロック塀所有者の多くは、若い世代が実家を離れた世帯の高齢者であり、現在居住する住宅は自分の代で終わりという考えを持っていることも、ブロック塀の除却が進まない要因と考えられます。</p> <p>啓発通知の発送は、これまで新年度当初から申請手続きが行えるように2月から3月の間に行っていましたが、お盆の時期等の帰省の時期に合わせて発送し、実家に帰省した子世代が、啓発通知を目にし、実家のブロック塀の危険性について親族間で認識してもらい、子から親に除却の必要性を促してもらうことを期待し、今後も取り組んでまいります。</p>								

【基本計画】第3章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち

第1節 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実

外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		15	2	1	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻市は子育てに対するケア等しっかりしていると感じました。もっといろんな形で広報等の周知活動を行えば、今から産む人たちにもそういう好印象を与えることができるのではないかと思います。</li> <li>・保育施設、放課後児童クラブの待機児童数がほぼゼロであることは、大変素晴らしい。</li> <li>・妊活サポート等、産む前のサポートが重要なのではないかな。</li> <li>・不妊治療に苦労されている方々に対する支援として、補助金等の活用を。</li> </ul>								
今後の方向性	<p>産む前のサポートとしては、子育て世代包括支援センターにおいて、両親学級（赤ちゃんお迎え講座）やマタニティ子育て相談などの助産師による産前産後トータルケアを実施し、安心して子育てができるようサポートしております。また、安心して出産・子育てができる環境の充実を図るため、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ「妊婦等包括相談支援事業」において、妊娠届出時、妊娠8か月頃、出産後などの関わりの中で、面談やアンケートを行い、その内容を基に必要な支援につなぐなどのサポートを行っております。</p> <p>令和6年度から、子どもを生み育てやすい環境づくりとして、先進医療の不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図るため、「不妊検査費助成事業」及び「不妊治療費助成事業」を創設し、費用の一部を助成する事業を実施しております。</p>								

第2節 生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実

外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	2	16	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「「生きがい」を持ちながら暮らしている高齢者の割合」の目標設定が適切であり、実績が少しずつ向上していることは望ましい。</li> <li>・高齢者の外出機会の創出は、地区によってばらつきがあり、外出したくてもできない人はたくさんいます。高齢者在宅福祉サービス事業の周知や、高齢者の移動手段の確保が必要だと感じました。</li> <li>・利用者が減っている理由について、必要としている人が減っているのか、周知自体が行きわたっていないだけなのか、理由を明確化し対策を講じたほうが良いと考えます。</li> </ul>								
今後の方向性	<p>高齢者数が増加している中で、利用者数が減少していることから、周知が十分ではないことや、事業の内容が時代や利用者のニーズに合っていないことなどが原因として考えられます。</p> <p>利用者や事業者に聞き取りを行うとともに、他のサービスや他自治体の類似事業等との比較検討を進めており、事業の整理や利用者がより利用しやすい改善を実施し、多くの方に事業を知っていただけるように、広く周知を図ってまいります。</p>								

第3節 共に安心して暮らせる障害福祉の充実									
外部評価	B	委員評価数				内部評価	B	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	○
		0	17	1	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・「共に安心して暮らせる障害福祉の充実」に対する施策の関連が明確であり、努力の跡が伺える。今後、障害者の活躍の場を与える施策が必要である。</li><li>・障害者の一般就労を増やすことはとても大切だと考える。事業所や学校と強く連携して、増やすことを目指してほしい。</li></ul>								
今後の方向性	引き続き障害者のニーズ等を勘案しながら、障害福祉サービスへのつなぎの拡充を図り、目標達成のため各施策を推進してまいります。								
第4節 誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		16	2	0	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・検診の推進が、「心と体の健康推進がなされていると感じる市民の割合」の向上に大きく貢献していると思う。</li><li>・各種がん検診の受診率が低下傾向であるため、対策を講じてほしい。</li><li>・子育て世代が検診をスムーズに受けられるよう、検診時の託児サービスが必要。</li></ul>								
今後の方向性	現在、子育て世代の方々が、自身の都合に合わせた検診が受けやすい環境づくりとして、土曜日や夜間の健（検）診などを実施しております。 今後も、申込者の状況や託児サービスのニーズなどを確認しながら、受診しやすい環境の整備に努めてまいります。								
第5節 みんなが共に支え合う地域共生社会の実現									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	4	14	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・奨学金返還支援する事業は大変良い事業であり、その一層の周知と使い勝手の良さが求められていると思います。</li><li>・虐待防止啓発活動について、市民全体へのリーフレットの配布などの啓発活動にしっかり取り組んでいることを評価したい。</li><li>・こども民生委員制度をつくってみてはどうか。</li></ul>								
今後の方向性	「地域の身近な相談役」や「見守り役」となる民生委員の役割は非常に重要なものになっており、地域福祉の推進には欠かすことのできない存在です。 民生委員の活動意義や役割を通して、子どもから大人まで多くの市民の皆様に地域福祉活動への理解、関心を持っていただくことが、地域共生社会の実現に繋がっていくと考えますので、こども民生委員制度を含め、今後どのような啓発活動ができるか、検討してまいります。								

【基本計画】第4章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち									
第1節 賑わいと活気にあふれる商工業の振興									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	3	14	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・勤労者へのサービスは、モチベーションを上げることにもつながっていると思う。これからもニーズに合った取組をお願いしたい。</li><li>・「元気いちば」は活気づいているが、街中・旧町のにぎわいが減少している。</li><li>・地域ブランドの育成について。漁業・農業に絞るのではなく、広い視野で推し進めていただきたい。全国での成功例を基としたセミナーを開催する等、各事業者に周知してほしい。</li></ul>								
今後の方向性	地域ブランドの育成について、現在地場産品の販路拡大を目的としたセミナーなど実施しておりますが、市の特産品は認知が十分でないものもあることから、地域ブランドの育成については、今後関係機関と連携してまいります。								
第2節 持続可能な漁業・水産加工業の振興									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	4	13	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・漁港水揚げについて、海洋を取り巻く環境が激変している中、善戦している。</li><li>・海洋の環境や生態系の保全に取り組む団体について、活動内容を市民にアピールしていけば良いと思う。</li><li>・温暖化による海水温度の変化により、太刀魚が多く獲れ始めたと聞く。他地域では高級魚であったりするので、地産地消に繋がらないだろうか。</li></ul>								
今後の方向性	<p>魚種の変化に対応した複数の漁法等による複合的な漁業への転換や、国内外の需要を見据えた生産から販売・輸出に至る総合的な養殖業への転換などが必要であることから、国、県と連携しながら積極的な支援に努め、持続可能な水産業の振興につなげてまいります。</p> <p>太刀魚につきましては、関東地方などでは高級魚として扱われますが、石巻では加工に対応できる業者が少ないことやサバやイワシなど、他の魚種の水揚げが多いことが市場に出回りにくい状況にあると考えております。また、底びき網などで獲れたものは、体に傷がつきやすく、取扱いが非常に難しい魚となっております。地産地消に関するご意見として参考にさせていただき、今後の対応を水産関係団体と連携し研究してまいります。</p>								

第3節 魅力的な農林畜産業の振興									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	0	17	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・有害鳥獣被害額の推移では、自然条件での増減も大きいと思うが、かなり減らしているので素晴らしいことだと思う。</li><li>・農畜産物の安全性の発信は、データの公表であり定期的に行うべき。</li><li>・高校生が就労体験を行える場を市にセッティングして欲しい。 ドローンやAIを活用した農業を行っている農業法人を見学することで、農業に興味を持ってもらうことにつながるのではないだろうか。</li></ul>								
今後の方向性	<p>「農業担い手育成総合支援事業」において、市が農業担い手センターの運営を民間事業者に委託し、新たな担い手の確保及び農業の魅力等を発信する取組を行っております。その活動の一環として市内の高校を訪問し、講義や農業体験を通じて就農に対する興味や関心を持ってもらえるような活動を行っています。</p> <p>これらの取組を通じて、次世代を担う若者が自身の進路選択の一つとして就農を考えるきっかけを提供しています。今後も担い手不足解消に向け、継続して就農相談、座学及び体験型プログラムを実施し、新規就農者の確保に努めてまいります。</p>								
第4節 地域資源を活かした観光事業の振興									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		15	2	0	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域食事券の発行について、市外の方にも販売している点、ネットでも販売していて送付してもらえる点は、石巻を元気にするととても良い施策である。</li><li>・石巻には素晴らしい観光資源がたくさんある。点から線へ、線から面へ展開する観光戦略が必要である。</li><li>・石巻駅、萬画館、門脇小学校の震災遺構、日和山公園、元気いちば等は、近いエリアに集まっているので、観光コースとして循環バスがあると魅力が増すと考える。</li><li>・観光ガイドブックについて、情報量が多く迷ってしまう人もいると感じたため、興味別や時間別、お勧め別等モデルコースを掲載し、コースごとの詳細をQRコードで紐づけできると良いのではないかと。</li></ul>								
今後の方向性	<p>現在、DMO（観光地域づくり法人）において、観光と震災遺構を活用した防災教育を組み合わせた教育旅行の開発に取り組んでいるところであり、循環バスの運行を含め、引き続き関係団体と連携し、本市の観光資源を活かした魅力ある観光コースの企画立案に努めてまいります。</p> <p>観光ガイドブックには、各施設やDMO等の各種プログラムのホームページへつながるQRコードを掲載しており、また、おすすめ周遊コースを掲載しているところであるが、当該おすすめ周遊コース上にはQRコードの掲載がないことから、令和8年度の次回更新時において、コース上へQRコードを掲載するほか、テーマ別のコース設定について、検討してまいります。</p>								



第5節 企業誘致の推進と新たな産業の創出									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	4	13	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・「若者世代と一緒に未来の街を考える」取組について、とても良いと思う。話し合いの中から小さなことでも実現に向けて、若者を巻き込んで取り組み、成果につなげることで若者にアピールして欲しい。</li><li>・企業誘致数については、一見低いように見えますが、地方経済が沈滞している中では善戦していると感じます。</li><li>・企業誘致について、助成はあるのに件数につながらないというミスマッチが生まれている理由を調査し、そのミスマッチを埋める策を講じなければ増加にはならないと思います。</li></ul>								
今後の方向性	<p>企業立地件数が伸び悩んでいる現状については、本市としても企業誘致の難しさを強く実感しており、その背景にある要因や課題の分析を今後さらに深めていく必要があると考えております。企業ニーズとのミスマッチを解消し、より実効性の高い支援策を講じるため、他市町村の助成制度や優遇策についても調査を行っており、時流に合った制度の在り方について現在検討を進めているところです。</p> <p>さらに、新たな立地企業の誘致のみならず、すでに本市に根ざして事業を展開している企業や新規創業者との連携・支援の強化が、地域経済の持続的な成長には欠かせないとのこと指摘もそのとおりであり、現在進行中の創業時の支援や創業後の持続化支援の取組にも引き続き力を入れてまいります。</p> <p>加えて、企業誘致に成功している他自治体の事例や戦略についても積極的に調査・分析し、本市の実情に即した形で柔軟に取り入れることで、選ばれる地域づくりを目指してまいります。</p>								
第6節 未来の産業を担う人材の確保と育成									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		15	0	2	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・農業や水産業に関心を持っている高校生に対し、各校の進路指導部と連携して、養殖業や農業法人での就業体験を通して、就労につなげて欲しい。</li><li>・U I J ターンにも力を入れ他都市からの人材の流入を。 中小企業セミナーの参加者数の目標値が低すぎるため、やり方の工夫が必要。</li></ul>								
今後の方向性	<p>U I J ターンによる他都市からの人材流入の促進は、労働力の確保のほか、地域活性化の観点からも重要であると認識しており、市民のみならず他都市からの人材確保も視野に入れ、創業支援等の取組を通じて、U I J ターンの受け入れ促進に努めてまいります。</p> <p>また、中小企業セミナーにつきましては、より多くの事業者の参加を促すため、ニーズに沿ったテーマ設定や講師選定の見直しに加え、広報手段の工夫を図り、参加者数の増加を図ってまいります。</p>								

【基本計画】第5章 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち

第1節 安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進

外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		15	2	0	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>ハード面の整備はできていると思うが、ソフト面の環境が整っていないように感じる。</li><li>備品予算を増額してもらうように強く働きかけてほしい。</li><li>学校の統廃合、施設設備の充実、廃校舎の活用など今後さらに推進することが必要になると思われるが、賃貸や売却等でお金を得る方策を考えてみては。</li></ul>								
今後の方向性	<p>統廃合後の学校については、学校開放や教育支援の場として一定程度活用されておりますが、今後の利活用の方針については検討課題となっております。</p> <p>廃校施設は、長年地域に親しまれてきた場であり、その活用の仕方によっては、地域交流の促進や観光客の誘致、新たな事業・雇用の創出など、地域の活性化につながる可能性を秘めています。利活用を進めるには、まず地域住民の意向を丁寧に伺いながら、方向性を検討していく必要があります。賃貸や売却は有効な手段と考えられますが、地域の理解や事業者との調整、また解体費用など、多くの課題を慎重に整理していくことが求められます。</p> <p>そのため、教育委員会のみで対応することは難しく、地域づくり、観光、経済、公有財産の管理など、他部局との連携が不可欠であることから、引き続き、全庁的な視点のもとで、地域にとって最も望ましい活用方法を検討していく必要があると考えております。</p>								
第2節 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		14	2	1	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>児童生徒の関心意欲を高めるデジタルデバイス活用研修を、各校で教科指導員等が模擬授業の形態で実施し、どの年齢の教員も使えるようにして欲しい。</li><li>学力が低いことや不登校の児童生徒が多いという状況からみれば、評価が現状とかけ離れていると言わざるを得ない。</li><li>コミュニティ・スクールについて、課題を探り、問題解決に努力してほしい。地域学校共同活動費を設ける等の取組を行う等。</li></ul>								
今後の方向性	<p>コミュニティ・スクール（以下、CS）推進上の課題とその問題解決に向けて、指導主事、CSスーパーバイザーの学校運営協議会における指導・助言、市CS検討推進委員会でCSの在り方に対する検討や各運営協議会代表者の情報交換、市CS推進フォーラムの開催、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進を目指した生涯学習課との連携等、様々な取組を行っております。</p> <p>また、協働教育推進事業費として、児童生徒数に応じた消耗品費の支援を行っております。今後、地域と学校とが協働した活動を推進していくため、学校が必要とする経費に本事業費を活用できるよう、使途を見直す予定としております。</p>								



第3節 いのちを守る防災教育の推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		15	2	0	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・心の問題や家庭環境の問題など複雑な要因もつ支援対象児童生徒の事例が、解決・好転する件数の割合が6割にもなるのは、関係諸機関の連携・努力の賜物だと思う。</li><li>・防災教育について、研修会だけでなく熱心に取り組んでいると思う。</li><li>・震災を経験していない子ども達に対する防災教育として、市内の小中学生は震災遺構へ見学に行くというカリキュラムを設けたほうが良い。</li></ul>								
今後の方向性	<p>東日本大震災の記憶や経験を風化させずに語り継いでいくため、門脇小等震災遺構の見学は有効な防災教育の手段であると考えております。実際に、震災遺構の見学や語り部の方のお話を聞く活動などを既に実施している学校もあります。</p> <p>震災遺構への見学については、児童生徒の中には保護者などから震災の話を聞き、震災遺構等を見ると自分のことのようにフラッシュバックしてしまう児童生徒もいるという話もあり、そういったケースの児童生徒の心のケアも含めて震災遺構の活用促進を図ってまいります。</p>								
第4節 地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		15	2	0	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・ふるさとカレッジ及びジュニア・リーダー活動人数について、良い事業であり参加した人達は満足している企画なのに、参加人数が少ないため、もっと参加者が増えるような工夫が必要である。</li><li>・ジュニア・リーダーは中高生にとって、人格形成やボランティアの精神を育む貴重な体験の場であり、子供会の活動が衰退している現状を考えると、ジュニア・リーダーの活躍の機会を創出すべきと考える。</li><li>・ジュニアカレッジや小中学生を対象にしたイベントやフォーラムなどでの活動を考えてはどうか。</li></ul>								
今後の方向性	<p>市内各地区において、子ども会組織の解散などが増えており、ジュニア・リーダーの活動機会が減少していることは事実ではありますが、地域のお祭りへの派遣依頼への対応、独自イベントの開催や石巻圏域のサークル同士の交流などに現在も取り組んでおります。</p> <p>限られた人数の中、可能な範囲で活動しておりますので、サークルの活動は現状維持とし、新規のジュニア・リーダーの確保に重点を置き、引き続き資質の向上に取り組んでまいります。</p>								

第5節 豊かな地域社会を育む生涯学習の推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	◎
		A	B	C	D			定量評価	◎
		16	0	1	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・出前講座について、一人一人のニーズに応えられるように、講座メニューを着実に充実させていることは、素晴らしいことだと思う。</li><li>・今の市民のニーズがどこにあるかを知る手立ての一つとして、他市町村で人気のある出前講座を調べることで、市民の関心が高い講座の開設ができると良い。</li><li>・各地区の総合支所内に、ミニ図書館機能を持たせたり、幼少期の読書体験を充実させるために、図書館に幼少期の子どもが母親と一緒に読み聞かせを聞いたり、寝転がって読んだりするジュータンのスペースが欲しい。</li></ul>								
今後の方向性	<p>本市では、各地区の総合支所に図書館法第3条第5号に規定する分館を設置しており、図書の閲覧、貸出及び返却に対応しております。</p> <p>図書館の児童コーナーにあるような読み聞かせスペースの確保につきましては、総合支所ごとに施設上の制約が異なることから、分館ごとに工夫しながら取り組んでおります。なお、各分館と情報や課題等を共有するため、定期的に分館本館担当者会議を開催しており、今後も連携して読書活動の推進に努めてまいります。</p> <p>図書館では、令和7年4月から児童図書コーナーに靴を脱いで子どもと本を読むことができる「子ども読書空間」を設置したほか、赤ちゃんや幼児、児童向けのおはなし会など様々な取組を行っているところです。</p>								

第6節 生涯にわたるスポーツ活動の推進									
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		16	1	0	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民参加も多く、たくさんの方がスポーツに携わり、活発である。</li><li>・健康維持のためにスポーツをしようと思う人が、年々増加しており、そのニーズに応えたスポーツ教室の実施など、施設の利用が増加していることは良いことだと思う。</li><li>・イベントの継続について、ツール・ド・東北等もYahoo が抜け、今後も継続できる状態にあるのでしょうか？ 良い取組を継続できるようなフォローをお願いしたいです。</li></ul>								
今後の方向性	<p>ツール・ド・東北については、令和5年度に「一般社団法人ツール・ド・東北」を設立し、これまでに開催されたツール・ド・東北の意義を引き継ぎつつ、新たな形で地域振興に寄与するために、自転車イベントを通じて、東日本大震災の伝承と共催自治体での関係人口の拡大を目指すとともに、東北におけるサイクルツーリズム事業を推進することを目的として活動しており、本市も共催として様々な支援を継続して実施していくこととしております。</p> <p>また、その他のイベントについても、関係団体等と連携及び協議をしながら事業を実施してまいります。</p>								

【基本計画】第6章 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち

第1節 市民に寄り添い信頼される行政運営の推進

外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		15	2	0	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSの活用など、多岐にわたる広報手段をうまく活用している。</li> <li>・若者の興味関心や政治に対する信頼など、参加してもらうための工夫も大事ですが、視点を変えて、参加したくなるような仕掛けを新たに作っていないと、効果が見えづらいと感じました。</li> <li>・小・中・高校生に市役所に来てもらい、市役所や議会室を見学し興味関心に応じたグループを作って、関心のある課の人と懇談の場を持つなどしてはどうか。</li> <li>・市役所新入職員（5年未満）の住民の声を聴く現場実習を実施し、課題などを考える機会を作ってみてはどうか。</li> </ul>								
今後の方向性	<p>若い方々に市政について考えていただく機会として、若者に意見を聴く懇談会、現場見学会、インターンの受け入れなどを行っております。</p> <p>新規採用職員等が住民の声を聴き、現場の課題を肌で感じる機会を持つことは、職員の意識醸成や今後の業務遂行において、大変有意義であると認識しております。本市では、様々な研修に加え、配属先でのOJTを通じて、現場での経験を重視した人材育成に努めているところであり、職員の更なる育成に努めてまいります。</p>								

第2節 持続可能な行財政運営の推進

外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	2	15	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルツールを活用することで、市職員の働き方改革が進んで本当に良かった。今後AIを活用し、さらに改革が進むことを期待する。</li> <li>・ふるさと納税の寄付金額の増加について、さらなる努力をお願いしたい。返礼品の選定等大変だと思いますが、他の自治体の成功例等を参考に頑張してほしい。</li> <li>・人口減少に歯止めをかけるため、大胆な発想と施策が必要である。そのためのアイデアを市民から募集する等はいかがか。</li> </ul>								
今後の方向性	<p>現在、市内在住の高校生・大学生又は石巻管内（2市1町）の高校・大学に通学する学生を対象に、「いしのまき政策コンテスト」を実施し、若者に市政への関心や政治への当事者意識をもってもらい、若者らしい「斬新かつ現実性を備えた政策」の提案を受け、優秀な提案については今後の施策に反映する事業を行っており、その中で人口減少をはじめとする本市の課題について説明させていただき、10年後も住みたいまちを目指した政策提案をしていただいております。</p> <p>また、動く市長室や市民アンケート、パブリックコメント等を通じて、幅広い意見の集約に努めていきたいと思っております。</p>								

対応方針1 災害に強いまちづくりに向けて復興事業を確実に推進する

令和4年度完了

対応方針2 活力ある地域社会の形成に向けて被災者の心の復興を推進する

外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	◎
		17	0	0	0				
主な意見	・復興住宅での自治会の運営が難しいという話を聞く。市が率先して楽しい活動を実施して、住民同士のつながりを高め、盛り上げていることはとても良い。								
今後の方向性	本事業は令和7年度で終了となりますが、今後も被災者の孤立防止や生きがいがづくり等の促進のため、各団体の自走化に向けたサポートを続けてまいります。								

【地方創生の取組】第1章 人口戦略の推進									
対応方針1 安定した雇用を創出し稼ぐまちをつくる									
外部評価	D	委員評価数				内部評価	D	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	×
		0	0	2	15				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・新規創業・就業者の開拓は、難しいながら各課とも頑張っていると思う。定着率も想像以上に良かったので、もっと辞めずにすむよう定着率向上の支援をお願いしたい。</li><li>・各中学高校のキャリア教育に協力して、各界で頑張る若手の就業者の話を聞く機会を設けて欲しい。</li><li>・奨学金返還助成は医療・福祉・介護人材の確保の観点から有効であるものと思われるので、その他の専門職に対しても補助を出すなど拡大してほしい。</li></ul>								
今後の方向性	<p>中学校では、1年生対象の「ふるさと大好き中学生事業」や、「職業人の話を聞く会」において、地元で働く様々な職種の方を呼び、話を聞く会を設けています。若手の就業者に限定して呼んでいるわけではございませんが、地元で頑張る若手の就業者も呼べるよう、働きかけていきたいと思います。</p> <p>令和6年度から石巻市内にお住まいの方を対象に「定住促進奨学金返還支援事業助成金」の交付を開始しております。</p> <p>本制度は、令和5年4月1日以降に新たに働き始めた正社員、起業者、専従者を対象としており、前年度に返還した奨学金額の2分の1以内（上限8万円）を助成いたします。助成対象期間は、助成金の交付対象となった最初の月から起算して最長6年間です。</p> <p>若い世代の負担軽減を図り、本市に住み続けたいと思ってもらう定住促進施策として、本制度の周知をさらに進め、活用を促進してまいります。</p>								
対応方針2 絆を大切にしが集まるまちをつくる									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	2	15	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・首都圏等での移住相談イベントへの出店等、努力しているようなので、継続して活動をお願いしたいです。</li><li>・若い人に地元で就職してもらうためには、石巻市にもこんな分野で頑張っている企業があるということを知ってもらうことが大切だと考える。</li><li>・小中学生のうちから、地域で頑張る企業を知る機会を設けて欲しい。学校任せにせずに、学校と連携することで成果が上がると思われる。</li></ul>								
今後の方向性	<p>ご指摘のとおり、石巻市の企業を知ってもらうことが大切と考えております。地元企業への就職、定着を促進するため、就職希望の高校3年生を対象とした企業見学ツアーの実施や関係機関と連携し開催している合同企業説明会を引き続き実施してまいります。</p> <p>また、小学校では校外学習で市内企業等を見学しており、中学校では1年生を対象とした「ふるさと大好き中学生事業」や、「職業人の話を聞く会」において、地元で働く様々な職種の人より話を聞く機会を設けております。今後も、児童生徒が市内企業に触れる機会を創出できるよう引き続き実施してまいります。</p>								

対応方針 3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	0	17	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・出生率を上げることは容易ではありません。出産可能な病院数や公園の数と配置、教育に関する支援制度等総合力が求められていると思います。</li><li>・合計特殊出生率の向上について、千葉県流山市の様な成功事例に学んで、石巻市としてできる範囲で重点的に取り組むべき課題を見つけてほしい。</li><li>・地域に子ども食堂があることも地域の魅力になると思う。各自で支援先を見つけることは限界がある。できれば市で、大口のスーパーや小売店、また食品加工会社、農協通じての農家さんへの働きかけなど取りまとめを市が行ってくれれば、子ども食堂の開設の敷居が下がると思う。</li></ul>								
今後の方向性	石巻地域では、「石巻圏域こども食堂連絡会議」が設置されており、本市もオブザーバーとして会議に出席し、情報を共有しながら共に取組を推進しています。令和7年7月に三者連携（団体・企業・行政）を目的とした、「石巻圏域こども食堂フォーラム2025」を開催し、当課からも石巻市地域こども食堂補助金などの説明させていただきました。今後につきましても、こども・子育て関係団体と連携しながら支援してまいりたいと考えております。								

対応方針 4 災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる									
外部評価	C	委員評価数				内部評価	C	定性評価	○
		A	B	C	D			定量評価	△
		0	1	16	0				
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくるための、様々な施策が充実していると感じる。</li><li>・公共交通利用者はとても少ない。公共交通も利用者が増えなければ、便を増やすことも難しいため、もっと公共交通利用者を増やすよう、対策を講じてほしい。</li><li>・複合文化施設の利用者が1万人減った明確な理由はあるのか？</li></ul>								
今後の方向性	複合文化施設を会場として開催される大規模なイベントの減少、また令和5年度は博物館でオープン以降、最高の来場者数となった企画展を開催したものの、令和6年度は、そこまでの集客力の高い企画展・特別展の開催とはならなかったことが利用者数減少の主な理由です。 指定管理者と連携し、大規模イベントの開催促進のほか、博物館においても集客力の高い特別展の開催などに取り組み、利用者数の増加に努めてまいります。								

【地方創生の取組】第2章 未来都市の実現								
対応方針1 コミュニティを核とした持続可能な地域社会をつくる								
外部評価	A	委員評価数				内部評価	A	定性評価
		A	B	C	D			定量評価
		13	4	0	0			◎
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グリーンスローモビリティについて、本当に利用促進を目指すのなら、トライ＆エラーをしっかりと行い、石巻市全域で利用できるように環境整備を整えていただきたい。</li> <li>・ 旧中心市街地の回遊手段として利用してみてもいいでしょうか。</li> <li>・ 本質的な問題は何かについて、事業に関する検証が必要であると思います。</li> </ul>							
今後の方向性	<p>グリーンスローモビリティについて、のぞみ野地区においては、令和3年3月から、あゆみ野地区については、令和5年7月から利用開始しておりますが、利用者からは一定の満足感を得ているものの、利用頻度は少ない状況となっていることから、関係者と打合せを行い、状況確認や意見交換などを定期的の実施し、稼働状況を精査しているところです。</p> <p>その結果、令和6年度には、運行ルートの見直しや地域イベントでの活用強化、地区イベント時のPRなどを行い利用者の増加を図ってまいりました。</p> <p>今後も引き続き関係者との打合せや利用者の意見を伺いながら、構造上の特性も考慮し、活用場所も含めてグリーンスローモビリティの在り方を検討してまいります。</p>							

